

市政を問う

一般質問

12月定例会における市政に関する一般質問は、12月4日、5日、6日に行われ、11人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

* 質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。会議録は市議会ホームページに掲載、もしくは半田図書館・亀崎図書館に設置してあります。ご利用ください。



公明党
山本半治

新生児の聴覚検査

問 新生児の約千人の内、1人から2人は、耳の障害を持って生まれてくると言われており、発見が遅れることで、その後の言語能力やコミュニケーション能力に問題が生じる可能性があります。すべての新生児が聴覚検査を行うべきだと思いますが、任意である聴覚検査の推進を、半田市はどのように行っていますか。

答 母子健康手帳交付時に、聴覚検査の必要性を説明しています。

問 新生児聴覚検査の受診状況と要検査件数をお尋ねします。

答 平成29年度、愛知県半田市は921人中873人約95%と高く、要検査は11件でした。

問 半田病院での新生児聴覚検査の受診状況をお尋ねします。

答 平成29年度、107人中92人約86%です。半田市内の産婦人科では、新生児聴覚検査をセット健診として、すべての新生児に聴覚検査を行っている病院があります。半田病院でも行えないでしょうか。

答 半田病院長と話し合っています。

小中学校体育館へのエアコン設置

問 参議院予算委員会では石田総務大臣から自治体負担が、実質30%である「緊急防災・減災事業債」は避難所指定を受けている小中学校体育館へのエアコン設置に活用できるとの発言がありました。半田市では是非、活用すべきと思いますがどうですか。

答 普通交付税の算定の仕組み上、確実な財政支援が見込めるものではないので積極的な活用については考えていませんが、今後は学校施設の更新計画を策定する中でエアコン設置を進めていきます。



創造みらい半田
中村宗雄

半田市の任期付き職員および民間人材の活用

問 平成26年総務省通知は、各自自治体に対し任期付き職員制度の検討を求めましたが、半田市はどのように対応しましたか。

答 新たな対応の必要性が無いと判断しました。

問 平成30年4月時点での任期付き職員の配置状況は、どのようになっていますか。

答 全職員数1,410名で任期付き職員は256名となります。

問 半田市における任期付き職員以外の民間人材の活用状況は、どのようになっていますか。

答 IT化など長期間にわたる高度な行政課題に対して、専門性を有する人材の確保をするため、必要とされる民間経験者の採用を行っています。今後、従来の常勤職員体制で解決できないと考えられる行政課題や市民ニーズについて、どのように考えますか。

答 高度化する情報システムや在住外国人増加への対応、観光を含めた産業振興、環境保全、公共交通の充実などが考えられます。

問 半田市議会会派「創造みらい半田」として、民間人材を活用した実効性のあるワンストップの中小企業支援事業である「エフビズモデル」の来年度の予算化を求めましたが、なぜ、予算計上を見送ったのですか。

答 半田商工会議所等も「エフビズモデル」が実施する売り上げ向上に重点を置いた相談について対応しているため、新たに「エフビズモデル」を導入する際は主に半田商工会議所と意見交換を行い検討していきます。

問 民間企業のITの専門家が期間限定、無償で自治体職員として派遣される取組みである「コード・フォー・ジャパン」の活用をなぜ半田市はしないのですか。

答 専門性の高い民間人材の活用は、職員のモチベーションを下げるデメリットがあるので、今後とも職員の資質向上に努めます。



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)